

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-189705

(43)Date of publication of application : 10.07.2001

(51)Int.Cl. H04H 1/00
H04N 7/16

(21)Application number : 11-375327

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 28.12.1999

(72)Inventor : SUGITANI KAZUNOBU

(54) DEVICE AND METHOD FOR SETTING CHARGE OF DIGITAL BROADCASTING, DEVICE AND METHOD FOR RECEIVING DIGITAL BROADCASTING, DIGITAL BROADCASTING SYSTEM AND METHOD FOR DIGITAL BROADCASTING COMMUNICATION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system that separately sets a charge in a receiver receiving the provision of digital broadcasting.

SOLUTION: The charges of digital broadcasting programs are not set uniformly, but a viewing history in which the number of the same program providing times is recorded in each of receivers 101, 108 and 113 is prepared, and the larger the number is, the lower the charge related to the providing of the program is made.

101	101
102	102
103	103
104	104
105	105
106	106
107	107
108	108
109	109
110	110
111	111
112	112
113	113
114	114
115	115
116	116
117	117
118	118
119	119

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-189705
(P2001-189705A)

(43) 公開日 平成13年7月10日 (2001.7.10)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	FI	ページ* (参考)
H04H 1/00		H04H 1/00	Z 5C064
H04N 7/16		H04N 7/16	C

審査請求 未請求 請求項の数15 OL (全9頁)

(21) 出願番号 特願平11-375327
(22) 出願日 平成11年12月28日 (1999.12.28)

(71) 出願人 000001007
キヤノン株式会社
東京都大田区下丸子3丁目30番2号
(72) 発明者 杉谷 和宣
東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内
(74) 代理人 100076428
弁理士 大塚 康徳 (外1名)
Fターム(参考) 5C064 BA07 BB01 BB07 BC01 BC07
BC16 BC20 BD02 BD04 BD08

(54) 【発明の名称】 デジタル放送の料金設定装置及び料金設定方法、デジタル放送の受信装置及び受信方法、デジ
タル放送システム、デジタル放送の通信方法

(57) 【要約】

【課題】 デジタル放送の提供を受ける受信者に対し
て、個別に料金を設定するシステムを提供すること。
【解決手段】 デジタル放送の番組の料金を一律に設定
せずに、各受信者毎 (101、108、113) に、同
じ番組を提供した回数を記録する視聴履歴を作成してお
き、その回数が多いほど、当該番組の提供に係る料金を
低くする。

ID1001	101
「用心棒」	102
98.10.10	103
毎週払い	104
99.1.2	105
99.2.3	106
99.3.4	107
⋮	
ID1002	108
「七人の侍」	109
97.1.1	110
一括払い	111
97.1.2	112
⋮	
ID1003	113
「将三十五郎」	114
98.10.10	115
毎週払い	116
99.10.11	117
99.10.13	118
99.10.15	119
⋮	

【特許請求の範囲】

【請求項1】 各受信者毎に、同じ番組を提供した回数を記録する記録手段と、

前記回数に基づいて、当該番組の提供に係る料金を設定する設定手段と、を備えたことを特徴とするデジタル放送の料金設定装置。

【請求項2】 前記設定手段は、前記回数が増えるに従って、各回における前記番組の料金を低く設定することを特徴とする請求項1に記載のデジタル放送の料金設定装置。

【請求項3】 前記設定手段は、前記同じ番組を提供した各回の期間に応じて、各回における前記番組の料金を低く設定することを特徴とする請求項1又は2に記載のデジタル放送の料金装置。

【請求項4】 前記料金に、その下限を設定したことを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のデジタル放送の料金設定装置。

【請求項5】 前記記録手段は、各受信者毎のテーブルであって、各番組毎の前記回数を記録したテーブルを有することを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載のデジタル放送の料金設定装置。

【請求項6】 同じ番組に関する料金の支払い方法について、受信者が、毎回払い一括払いのどちらを選択したかを判定する手段を備え、

前記設定手段は、前記毎回払いと前記一括払いとで、異なる料金を設定することを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載のデジタル放送の料金設定装置。

【請求項7】 各受信者毎に、同じ番組を提供した回数を記録する記録工程と、

前記回数に基づいて、当該番組の提供に係る料金を設定する設定工程と、を含むことを特徴とするデジタル放送の料金設定方法。

【請求項8】 デジタル放送の料金を設定するために、コンピュータを、各受信者毎に、同じ番組を提供した回数を記録する記録手段、

前記回数に基づいて、当該番組の提供に係る料金を設定する設定手段、として機能させるプログラムを記録した記録媒体。

【請求項9】 同じ番組の提供を受けた回数を記録する手段と、

前記回数と放送局の料金設定に基づいて、当該番組の提供に係る料金を算出する手段と、

算出した料金を報知する手段と、を備えたことを特徴とするデジタル放送の受信装置。

【請求項10】 同じ番組の提供を受けた回数を記録する工程と、

前記回数と放送局の料金設定に基づいて、当該番組の提供に係る料金を算出する工程と、

算出した料金を報知する工程と、を含むデジタル放送の受信方法。

【請求項11】 デジタル放送の受信のために、コンピュータを、

同じ番組の提供を受けた回数を記録する手段、

前記回数と放送局の料金設定に基づいて、当該番組の提供に係る料金を算出する手段、

算出した料金を報知する手段、として機能させるプログラムを記録した記録媒体。

【請求項12】 デジタル放送の送信装置とデジタル放送の受信装置とを備えたデジタル放送システムであって、

10 前記送信装置が、

各受信者毎に、同じ番組を提供した回数を記録する記録手段と、

前記回数に基づいて、当該番組の提供に係る料金を設定する設定手段と、を備えたことを特徴とするデジタル放送システム。

【請求項13】 前記受信装置は、同じ番組に関する料金の支払い方法について、受信者に、毎回払い一括払いのどちらかを選択させる手段を備え、

20 前記送信装置の前記設定手段は、前記毎回払いと前記一括払いとで、異なる料金を設定することを特徴とする請求項12に記載のデジタル放送システム。

【請求項14】 前記受信装置は、各番組の料金情報を報知する手段を備えたことを特徴とする請求項12又は13に記載のデジタル放送システム。

【請求項15】 デジタル放送の送信工程とデジタル放送の受信工程とを含むデジタル放送の通信方法であって、

前記送信工程が、

30 各受信者毎に、同じ番組を提供した回数を記録する記録工程と、

前記回数に基づいて、当該番組の提供に係る料金を設定する設定工程と、を含むことを特徴とするデジタル放送の通信方法。

【発明の詳細な説明】
【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、デジタル放送に関し、特に、デジタル放送の番組の提供に関する料金の処理に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、有料番組等の料金の設定方法としては、その番組毎に料金を支払うペイパービュー方式と呼ばれる手法が提案されている。この方式では、番組毎に、予め料金が設定されており、受信者は定められた料金を支払うことにより、その番組を視聴することが可能となる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、受信者においては、利用頻度等に応じて料金が割り引きされる
50 ほうが好ましく、全ての受信者に一律に同じ料金を設定

することは必ずしも妥当ではない。

【0004】従って、本発明の目的は、デジタル放送の提供を受ける受信者に対して、個別に料金を設定し得るデジタル放送の料金設定装置及び料金設定方法、デジタル放送の受信装置及び受信方法、デジタル放送システム、デジタル放送の通信方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明によれば、各受信者毎に、同じ番組を提供した回数を記録する記録手段と、前記回数に基づいて、当該番組の提供に係る料金を設定する設定手段と、を備えたことを特徴とするデジタル放送の料金設定装置が提供される。

【0006】本発明において、前記設定手段は、前記回数が増えるに従って、各回における前記番組の料金を低く設定することもできる。

【0007】また、本発明において、前記設定手段は、前記同じ番組を提供した各回の期間に応じて、各回における前記番組の料金を低く設定することもできる。

【0008】また、本発明においては、前記料金に、その下限を設定することもできる。

【0009】また、本発明において、前記記録手段は、各受信者毎のテーブルであって、各番組毎の前記回数を記録したテーブルを有することもできる。

【0010】また、本発明においては、同じ番組に関する料金の支払い方法について、受信者が、毎回払い一括払いかのどちらを選択したかを判定する手段を備え、前記設定手段は、前記毎回払いと前記一括払いとで、異なる料金を設定することもできる。

【0011】また、本発明によれば、各受信者毎に、同じ番組を提供した回数を記録する記録工程と、前記回数に基づいて、当該番組の提供に係る料金を設定する設定工程と、を含むことを特徴とするデジタル放送の料金設定方法が提供される。

【0012】また、本発明によれば、デジタル放送の料金を設定するために、コンピュータを、各受信者毎に、同じ番組を提供した回数を記録する記録手段、前記回数に基づいて、当該番組の提供に係る料金を設定する設定手段、として機能させるプログラムを記録した記録媒体が提供される。

【0013】また、本発明によれば、同じ番組の提供を受けた回数を記録する手段と、前記回数と放送局の料金設定に基づいて、当該番組の提供に係る料金を算出する手段と、算出した料金を報知する手段と、を備えたことを特徴とするデジタル放送の受信装置が提供される。

【0014】また、本発明によれば、同じ番組の提供を受けた回数を記録する工程と、前記回数と放送局の料金設定に基づいて、当該番組の提供に係る料金を算出する工程と、算出した料金を報知する工程と、を含むデジタル放送の受信方法が提供される。

【0015】また、本発明によれば、デジタル放送の受

信のために、コンピュータを、同じ番組の提供を受けた回数を記録する手段、前記回数と放送局の料金設定に基づいて、当該番組の提供に係る料金を算出する手段、算出した料金を報知する手段、として機能させるプログラムを記録した記録媒体が提供される。

【0016】また、本発明によれば、デジタル放送の送信装置とデジタル放送の受信装置とを備えたデジタル放送システムであって、前記送信装置が、各受信者毎に、同じ番組を提供した回数を記録する記録手段と、前記回数に基づいて、当該番組の提供に係る料金を設定する設定手段と、を備えたことを特徴とするデジタル放送システムが提供される。

【0017】また、本発明において、前記受信装置は、同じ番組に関する料金の支払い方法について、受信者に、毎回払い一括払いかのどちらかを選択させる手段を備え、前記送信装置の前記設定手段は、前記毎回払いと前記一括払いとで、異なる料金を設定することもできる。

【0018】また、本発明において、前記受信装置は、各番組の料金情報を報知する手段を備えることもできる。

【0019】また、本発明によれば、デジタル放送の送信工程とデジタル放送の受信工程とを含むデジタル放送の通信方法であって、前記送信工程が、各受信者毎に、同じ番組を提供した回数を記録する記録工程と、前記回数に基づいて、当該番組の提供に係る料金を設定する設定工程と、を含むことを特徴とするデジタル放送の通信方法が提供される。

【0020】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好適な実施の形態について、図面に基づいて詳細に説明する。

【0021】図2は、本発明の一実施形態に係るデジタル放送システムのネットワーク図である。このデジタル放送システムは、主として映像の配信を行うものである。

【0022】このデジタル放送システムは、放送局201と、その放送局201の放送を受信する各家庭202と、において適用され、また、有料番組等の料金を決算する金融機関207も含むことができる。

【0023】先ず、図2における3者の役割と3者間で取り交わされる情報等の流れを説明する。

【0024】放送局201は、送信装置203を備え、アンテナを通して放送電波205を送信する。この放送はデジタル放送であり、画像、音声、文字はデジタル情報として流される。

【0025】各家庭202は、受信装置204を備え、これにより電波を受信して、その番組の内容を再生、出力する。受信装置204は、通常のテレビ等とは異なり、単に画像・音声を再生するに留まらず、放送局201と回線206を通じて所定の情報の送受信を行うこと

ができる。この詳細に関しては後述する。

【0026】受信装置204は、受信した電波に係る番組を録画することもできる。番組が、有料番組である場合には、回線206を通して、その旨を放送局201に伝えることができ、その番組が暗号化されている時は、所定のキーを放送電波若しくは回線206を通して送ってもらうことができる。

【0027】有料番組の料金は、金融機関207の銀行口座からの引き落としや、クレジットカードの利用等により支払われる。いずれの方法にしても、ユーザは金融機関207に預金し、そこから支払うことができる。金融機関207からは利用明細がユーザに送られてくるとなる。この場合、回線209によりそのやりとりを行うこともできる。また、放送局201と金融機関207との間での番組料金の仲介を行なう為の情報や金銭のやりとりも回線208により行うこともできる次に、受信装置204の構成について、図3のブロック図を用いて説明する。

【0028】受信装置204において、アンテナANT301で受けた電波は、チューナーTUNR302で選局され、受信した信号は中央処理装置CPU309で処理されて表示器DISP303やスピーカーSP304に送られて表示、音声出力される。

【0029】また、受信装置204は、受信した番組を録画等するためのハードディスクHD305や各種情報を印刷する為のプリンターPRNT306を備える。受信装置204内の信号は、バスラインBL308を経由して伝達される。

【0030】受信装置204の操作、例えば、チャンネル選択、文字入力、各種設定等はパネルPNL310により行うことができる。

【0031】ランダムアクセスメモリRAM311は、各種情報の書き込み、取り出しを行うものためのものである。その詳細は後述する。リードオンリメモリROM312には、固定的な情報が格納されている。その詳細も後述する。

【0032】また、受信装置204は、放送局201が発行する個別識別カードや、金融機関207が発行するキャッシュカード、又は、クレジットカードがセットされ、カードに記録された情報を読み取るためのカード入力装置CARD313を備える。

【0033】また、放送局201や金融機関207と情報を交換する回線307を備える。回線307としては、電話線、光ケーブルを挙げることができる。

【0034】次に、RAM311とROM312に格納される情報等について説明する。図4は、RAM311のデータ構造を示した図である。

【0035】RAM311の先頭には、受信装置204の識別番号を記録する領域であるIDNo. 401がある。この情報は、放送局201が発行する個別識別カー

ドから、CARD313により読み込んだり、放送局201と放送受信契約をした時にユーザが書き込むことができる。放送局201から見れば、全ての受信装置204を識別する必要があり、その為の識別番号である。

【0036】次に、演算過程の値や、一時的に情報を記憶させるワーク領域WORK402がある。

【0037】TBL403は、受信者が番組の提供を受けて視聴した視聴履歴テーブルが格納される領域である。

10 【0038】FEE404は、各番組に対する受信者の料金情報が格納される領域である。

【0039】次に、図5は、ROM312のデータ構造を示した図である。

【0040】ROM211は、受信装置204の処理を実行する為のプログラムを記憶したプログラム領域PRG501と文字コードのデータ信号を受信した際にパターンに変換する為の文字・記号・罫線等のフォントパターンを格納するフォント領域FONT502とから構成されている。

20 【0041】次に、TBL403に格納される視聴履歴テーブルについて説明する。

【0042】視聴履歴テーブルは、原則として放送局201側で作成すれば足りるが、本実施形態では、受信者が確認できるように受信装置204においても自己の受信に係る視聴履歴テーブルを作成し、RAM311のTBL403に格納する。なお、受信装置204において独自に作成せずに、放送局201から転送してもらうことにより受信装置204のTBLに格納するようにしてもよい。

30 【0043】図1は、視聴履歴テーブルの構成の一例を示す図である。

【0044】視聴履歴テーブルには、受信者のIDナンバー(101、108、113)毎に、受信者に提供した有料番組の提供回数(視聴回数)が記録されている。

【0045】具体的にIDナンバー101の欄を例にとって説明すると、番組名102と、その番組名102に係る番組を受信者が視聴した日時(103、104、105、106、107)と、受信者が希望したその番組に関する料金の支払方法104と、が記録されている。

40 【0046】要するに、視聴履歴テーブルは、受信者が、同じ番組を何度も視聴した場合の履歴を記録するのである。ここでいう同じ番組としては、例えば、同一タイトルの映画のように、内容が全く同じ番組に限定してもよいし、或いは、毎週放送される同一タイトルの番組であって、その内容が異なるものも含むようにしてもよい。

【0047】支払方法は、毎回支払いと一括支払いとがあり、受信者はいずれか一方を選択することができる。

50 【0048】毎回支払いとは、同じ番組について、その

視聴する度に料金を支払う方法である。本実施形態では、同じ番組を繰り返し視聴する場合は、見る度に料金が割引かれる。特に、本実施形態では、3回目の視聴まで順次割引いていき、4回目以降は定額として、料金

の下限を設けている。
【0049】図6は、その回数と料金との関係を示したテーブルである。このテーブルから明らかなように、初めて視聴する場合は400円であり、2回目は300円、3回目は200円、と割引かれ、4回目以降は一律100円としている。もちろん、4回目以降をただに

してもよい。
【0050】一方、一括支払いは、複数回視聴するであろうということを前提として、具体的な視聴回数に関わり無く、一括して定額を支払う方法である。一般的には、同じ番組をそう何回も見るとは限らないので、たいていは毎回支払いを利用するが、同じ番組でも何回も見

そうな場合、受信者は、一括支払いを選択することができる。一括支払いの料金は、例えば、初回の料金を600円とし、2回目以降をただにすることができる。この場合、最低2回見るとした場合はこちらの方が安くなる。毎回支払い方式だと2回見ると700円、3回見ると900円、4回見ると1000円になる。

【0051】一方、このような視聴履歴テーブルを、受信装置204のDISP303に表示させ、受信者が確認するようにすることもできる。

【0052】図7は、その表示例を示した図であり、番組名、初回視聴年月日及び支払方法(701、702)と、2回目以降の視聴年月日(701、703)と、が表示される。これにより、過去に見た番組が分かると共に今後見る場合の料金が分かる。

【0053】次に、本実施形態のデジタル放送システムにおける処理について説明する。図9は、係る処理を示したフローチャートである。

【0054】まず、どの番組を見るかの申込みをする(ステップS901)。申込みの方法は回線を206通じて、自己のID番号や希望する番組の情報を放送局201へ送ることにより行う。

【0055】放送局206では、申し込みのあった番組と、その受信者のID番号を付して送信装置203から受信装置204へダウンロードする(ステップS902)。この番組を受信できるのは、そのID番号を有する受信者の受信装置204のみとなる。

【0056】次に、受信した番組を視聴するためのキーを取得するため、料金の決定及び支払いの処理を行う。

【0057】まず、放送局201において、料金を決定する処理を行う(ステップS903)。この料金決定処理の内容に関しては、10図を用いて後で詳細に説明する。

【0058】次に、料金の支払い処理をする(ステップS904)。まず、受信装置204のDISP303

に、送信装置203から今回の料金が表示される。

【0059】図8は、料金の表示例を示した図であり、料金801と、申し込みボタン802と、キャンセルボタン803と、が表示されている。

【0060】申込みボタン802を操作すると、金融機関207における受信者の口座から料金が引き落とされて、放送局201の口座に入金される。キャンセルボタン803を操作すると処理が終了する。この場合、受信者は受信した番組を視聴できないこととなる。

【0061】申し込みが適切にされると、放送局201から受信装置204へキーが送出される(ステップS905)。これは、ダウンロードした番組のデータは、圧縮されていたり、暗号化されており、その儘では見られない状態になっているので、見られる状態にするためのキーをもらうわけである。なお、ダウンロードしたデータはいる。この圧縮や暗号の方法については既存の技術を用いることができる。

【0062】受信したキーを用いて番組のデータを解凍し、或は、暗号解読を行うと番組が再生され、これを視聴することができる(ステップS906)。

【0063】最後に、放送局201側において、視聴履歴テーブルが更新され、また、受信装置204においても、RAM311のTBL403に格納された視聴履歴テーブルが更新される(ステップS907)。

【0064】次に、ステップS903における料金決定処理について説明する。

【0065】図10及び図12は、料金設定処理を示すフローチャートである。

【0066】まず、要求された番組について、その受信者が過去に視聴したことがあるか否かを判定する(ステップS1001)。

【0067】初めの場合は、図12に示すフローチャートのステップS1201へ進み、料金支払い方法の判別を行なう。

【0068】まず、受信装置204のDISP303には、料金支払方法の設定画面が現れる。図11は、その表示例である。

【0069】設定画面には、毎回支払いを選択する欄1101と、一括支払いを選択する欄1102と、が表示され、受信者は、所望の支払い方法の欄をチェックする。

【0070】毎回支払いが選択された場合、上述した例で言えば、料金(FEE)は、400円となり(ステップS1202)、一括支払いが選択された場合は、600円となる(ステップS1203)。支払い方法の選択結果は、回線206を通じて放送局201へ送られることとなる。また、選択した結果は、料金情報として、受信装置204のRAM311のFEE404に格納される。

【0071】次に、ステップS1001に戻って、2回

目以降の場合は、既に支払い方法は設定されているから、ステップS1002において設定されている支払い方法を判別し、一括支払いの場合はステップS1008へ進み、料金は0となる。

【0072】毎回支払いの場合は、ステップS1003へ進み、何回目の視聴かを判定して、各回に対応した料金が設定される（ステップS1004乃至ステップS1007）。

【0073】このように本実施形態では、同じ番組を繰り返し視聴した場合、その回数に応じて料金が変わるので、利用者のニーズに対応した料金設定ができる。

【0074】なお、上記実施形態では、毎回番組をダウンロードしたが、最初にダウンロードしたデータを保存しておくようにして、2回目以降見たい場合はキーのみ送ってもらう方式でもよい。

【0075】また、上記実施形態では、放送局201から番組を放送するのは、電波を経由するとしたが、インターネットを経由する等の光ケーブルその他の信号伝達手段でも構わない。

【0076】また、本実施形態では、繰り返し視聴した回数に応じて料金を変えたが、番組を提供した日から次に提供した日までに、かなりの日数が経っている場合は料金を安くするようにしてもよい。一般に、映画ならば新作はロードショー劇場でやるので高いが、日数が経つと安くなったり、無料でやったりして価値が下がるからである。例えば、1年以上経過した場合は100円引きにすることもできる。。

【0077】図13は、この場合の処理のフローチャートを示す図である。

【0078】ステップS1101では、前回に番組を提供した日から今回提供する日までに1年以上経過したか否かを判定する。1年未満の場合は終了して、別の処理へ進み、1年以上経っていれば料金（FEE）を100円引きにする（ステップS1302）。その結果、もし料金が100円未満になれば（ステップS1303）、100円に据え置く（ステップS1304）。即ち最低100円は変わらない。この様にしておけば、最初は300円、以後200円、100円と料金が下がる。

【0079】なお、本発明の目的は、前述した実施形態の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記録した記憶媒体（または記録媒体）を、システムあるいは装置に供給し、そのシステムあるいは装置のコンピュータ（またはCPUやMPU）が記憶媒体に格納された

プログラムコードを読み出し実行することによっても、達成されることは言うまでもない。この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が前述した実施形態の機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。また、コンピュータが読み出したプログラムコードを実行することにより、前述した実施形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼働しているオペレーティングシステム（OS）などが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0080】さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された機能拡張カードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張カードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部または全部を行い、その処理によって前述した実施形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0081】

【発明の効果】以上説明した通り、本発明によれば、デジタル放送の提供を受ける受信者に対して、個別に料金を設定することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】視聴履歴テーブルを示す図である。

【図2】本発明の一実施形態に係るデジタル放送システムのネットワーク図である。

【図3】受信装置204のブロック図である。

【図4】RAMの構成図である。

【図5】ROMの構成図である。

【図6】料金の毎回払いの場合における、視聴回数と料金との関係を示したテーブルを示した図である。

【図7】受信装置204における視聴履歴テーブルの表示例を示した図である。

【図8】料金の表示例を示した図である。

【図9】本実施形態のデジタル放送システムにおける処理のフローチャートである。

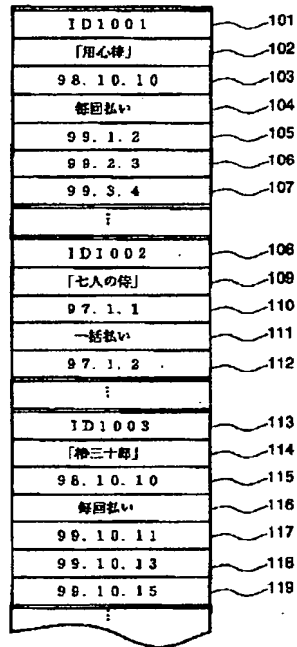
【図10】料金決定処理のフローチャートである。

【図11】支払い方法設定画面の表示例である。

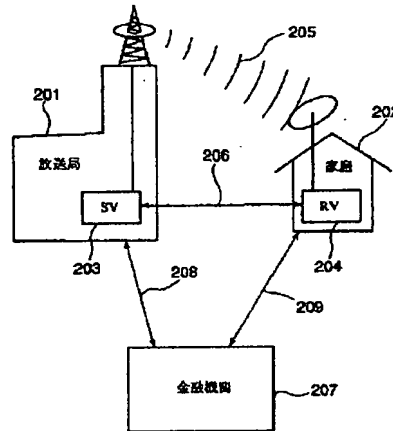
【図12】料金決定処理のフローチャートである。

【図13】他の料金決定処理のフローチャートである。

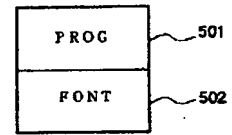
【図1】



【図2】



【図5】



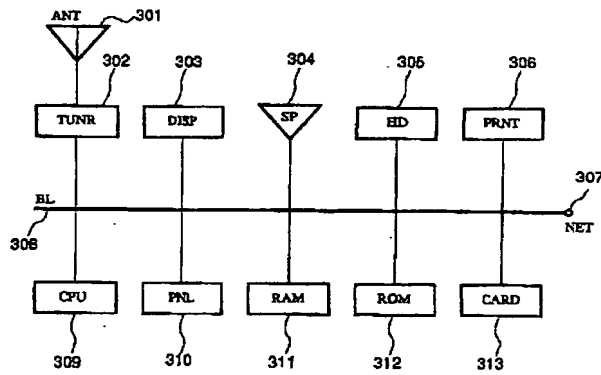
【図4】

ID NO.	401
WORK	402
TBL	403
FEE	404

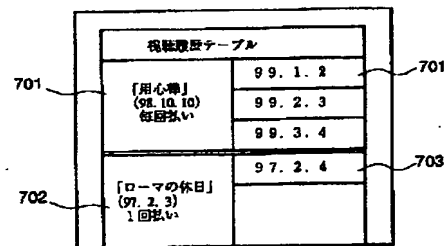
【図6】

1回目	400円
2回目	300円
3回目	200円
4回目以降	100円

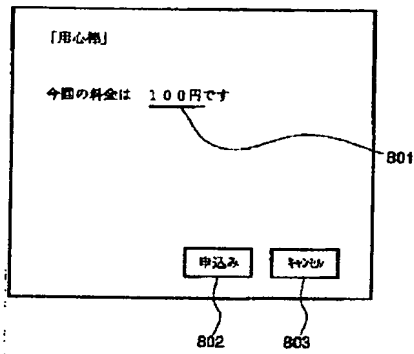
【図3】



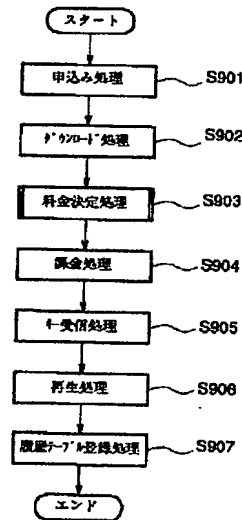
【図7】



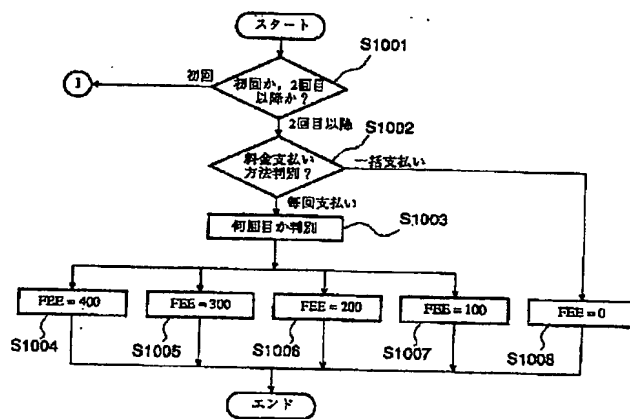
【図8】



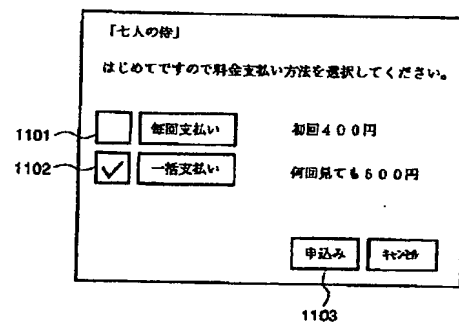
【図9】



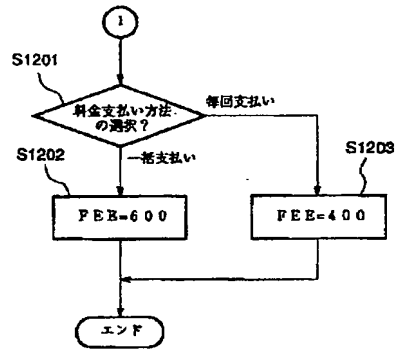
【図10】



【図11】



【図12】



【図13】

